

第6次川島町総合振興計画

実施計画

第6次川島町総合振興計画 前期基本計画 代表事業

[令和4（2022）年度～令和6（2024）年度]

令和3年12月

川島町

1 第6次川島町総合振興計画における実施計画について

総合振興計画は、まちづくりの柱として町の最上位計画に位置付けられており、町の将来像や基本理念、将来像を実現するための戦略目標などを体系化し、その取組の指針を示すものです。

総合振興計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されており、計画書に掲載している基本構想及び基本計画を具体化するための取組を、「実施計画」に取りまとめています。

(1) 基本構想

令和3(2021)年度から12(2030)年度までの10年間を展望し、まちづくりの方向性や将来像を示すものです。

基本構想では、基本理念「ここが好き、やっぱり好き」に基づく政策の達成状況を検証する指標として、まちづくり総合目標「住みよさ町民満足度」を設定しています。

(2) 基本計画

基本構想の計画期間を前半5年間と後半5年間に分け、それぞれの期間で将来像の実現に向けた各施策の方向性、目標等を示すものです。

基本計画では、戦略目標ごとに評価指標、施策ごとにKPIを設定して進捗状況を検証します。

(3) 実施計画

基本計画で示す施策の効果的な実現に向けた具体的な事業を示すものです。計画期間を3年間とし、1年ごとに財政状況を基に内容を見直し、公表します。

2 実施計画の概要

(1) 実施計画作成の主旨

実施計画は、第6次川島町総合振興計画前期基本計画の実行計画であり、計画期間における事業の優先順位の決定と予算編成方針の基礎資料となるものです。実施計画の策定にあたっては、社会情勢の変化や緊急度が高く集中的に対応する新たな取組を反映させるため、3年ごとのローリングシステムを採用します。

(2) 実施計画の期間

期間は、令和4(2022)年度から令和6(2024)年度までの3年間とします。

(3) 本資料の対象事業

(2)で掲げる期間に実施される事業であり、第6次川島町総合振興計画前期基本計画に位置付けられた8の重要施策、39の主な施策と特に関連のある「代表事業」を対象に調書を作成し、取りまとめています。

その他、各施策に関連する事業は、所管課において予算化した上で実施しています。

(4) 留意事項

- ・代表事業調書に掲載された事業費は、概算事業費として計上しています。予算化に向けては、詳細な事業設計や事業費の精査を行った上で、当該年度の当初予算編成が行われます。
- ・所期の目的を達成した代表事業は、川島町総合振興計画審議会による検証を経た後に変更します。

3 評価方法

各施策に設定した評価指標の実績値が、目標値に対して基準値からどの程度まで達成しているか（達成率）について、下表に基づき評価します。

達成率計算式 $(\text{現状値} - \text{基準値}) / (\text{目標値} - \text{基準値})$ （小数点第2位以下切捨）

評価		達成率
A	目標達成に向け進んでいる	100%以上
B	目標達成に向け概ね進んでいる	75～100%未満
C	目標達成に向けやや遅れがある	50～75%未満
D	目標達成に向け遅れがあり、改善や工夫が必要と思われる	50%未満

※達成率の把握ができていない事業は「-」としています。

※数値基準のない事業や令和7年度達成に向けて進めている事業については、進捗状況により評価しています。

A：スケジュールどおり実施した

B：スケジュールを概ね実施した

C：スケジュールにやや遅れがある

D：スケジュールに遅れがある、または未実施

4 まちづくり総合目標「住みよさ町民満足度」

基本理念「ここが好き、やっぱり好き」に基づいて実施する各種施策の達成状況を検証するため、「住みよさ町民満足度」を本町の独自指標として設定します。

指標は、町民アンケートにおける「住みよさ」に関する設問の回答を点数化した上で平均値を求め、達成度を数値化して算出します。これにより、町民の皆さまが川島町に居住することについてどの程度満足しているか測定します。

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
住みよさ町民満足度	目標	-	63.7%	64.2%	64.7%	65.2%	66.0%
	実績	63.2%					
評価指標設定理由							
様々なまちづくりの取組の成果を測定するため、本町独自の評価指標として「住みよさ町民満足度」を設定し、町民の皆さまが心身ともに充実した生活を送っているかを確認する。	評価	-					

5 戦略目標ごとの代表事業

戦略目標1 まもる「未来に続き安全・安心な暮らしをまもる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R4	R5	R6
重要1	災害に備える環境整備	災害対策事業	50,079	150,079	100,079
重要2	持続可能な循環型社会の実現	ごみ処理広域化事業	1,565	1,565	1,565
1	自治・コミュニティの振興	コミュニティ推進事業	22,784	22,784	22,784
2	消防・防災体制の充実	災害対策事業	3,253	3,253	3,253
3	人権尊重・男女共同参画の推進	人権尊重・男女共同参画推進事業	269	269	269
4	交通安全の推進	交通安全の推進	9,710	9,710	9,710
5	健康づくりの推進	健康管理システム整備事業	3,377	3,377	3,377
6	福祉のまちづくり	社会福祉総務事業	20,436	20,436	20,436
7	障がい者福祉の充実	地域生活支援事業・障害者自立支援事業	13,000	13,000	13,000
8	高齢者福祉の充実	在宅老人福祉事業	4,009	4,009	4,009
9	社会保障の充実	社会保障充実事業	22,911	22,911	22,911
10	ごみ処理適正化の推進	ゼロ・ウェイスト推進事業	11,000	36,800	358,500
11	自然環境と共生するまちづくり	CO2削減に向けた啓発事業	2,545	1,679	1,679
12	緑あふれる安心空間の整備	都市公園等の維持管理の充実	63,782	109,217	85,797
13	安心して暮らすための河川の整備	排水路整備事業	34,950	34,950	34,950
14	住みよいまちづくり	都市計画推進事業	4,700	2,300	2,300
15	上下水道の整備・維持管理	雨水幹線整備事業	231,600	230,000	2,700
16	安全に通行できる道路の整備	主要幹線道路整備事業	22,917	22,917	22,917
17	持続可能な公共交通網の形成	地域公共交通対策事業	37,346	34,606	34,346
18	農地保全と有効利用	農地中間管理事業	19,362	15,762	15,762
19	公共施設の適正な管理	公共施設等総合管理事業	0	0	0
20	適正な行財政運営の推進	計画行政推進事業	700	700	700
年度ごと概算事業計			580,295	740,324	761,044

戦略目標1 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
住み続けたいと思う町民の割合	目標	-	71.1%	71.3%	71.5%	71.7%	72.0%
	実績	70.9%					
評価指標設定理由							
戦略目標1で掲げる取組の成果を測定するため、「住み続けたいと思う町民の割合」を設定し、町民の皆さまが安全・安心な暮らしを送っているかを確認する。	評価	-					

No.	重要1	戦略目標	まもる	施策名	災害に備える環境整備	分類	継続
実施計画事業名	災害対策事業		予算書事業名	災害対策事業	関連計画	地域防災計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	川島町地域防災計画に基づき、町民の生命、財産を災害から守るため、様々な災害に対応するための防災施設を整備し、安全・安心なまちづくりを推進する。	評価の考え方及び今後の対応策	水害時には、町内の高台や、町外の避難先等の、避難場所の確保を行う必要がある。 今後の対応策としては、町内の高台を推進するなどの、避難先確保に向けた取り組みを検討し、実施を行う。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の維持管理 ・災害用マンホール蓋の交換工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の維持管理 ・災害用マンホール蓋の交換工事 ・高台避難場所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の維持管理 ・高台避難の整備(設計・現況用地測量・物件調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の維持管理 ・高台避難の整備(用地取得・接続道整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の維持管理 ・高台避難の整備(造成)

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	1,055	13,619	50,079	150,079	100,079
財源内訳	国庫支出金		20,000	45,000	40,000
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	1,055	13,619	30,079	105,079	60,079

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高台避難場所の箇所数	目標	-	計画	設計	用地取得	造成	1箇所
	実績	計画素案作成					
評価指標設定理由	評価	-					
大規模水害時、避難が困難な場合、緊急的な避難をする場所が必要となるため、5年で1箇所を設定した。							

No.	重要2	戦略目標	まもる	施策名	持続可能な循環型社会の実現	分類	継続
実施計画事業名	ゼロ・ウェイスト推進事業		予算書事業名	4R運動推進事業	関連計画	一般廃棄物処理基本計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	令和2年度にゼロ・ウェイスト推進室を設置。ゼロ・ウェイスト(ごみゼロ)に向けて様々な施策を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	ゼロ・ウェイストに向けて様々な施策を実施する。ゼロ・ウェイストの中でも、まずは可燃ごみの削減に重点を置き、可燃ごみの中でも比率が多いプラスチックごみ、生ごみの施策について検討を行っていく。
------	--	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	・ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ①使用済インクカートリッジ回収事業者と協定締結 ②小型家電宅配便回収業者と協定締結	・ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ①使い捨てプラスチック削減方針策定 ②地域情報サイトとリユースに関する協定締結	・ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ①プラスチック削減事業(ペットボトルの削減及びマイボトルの普及推進)の推進	・ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ①プラスチック製品一括回収によるごみ分別区分及び収集形態の検討	・ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ①生ごみ再資源化事業給食センター及び事業ごみの生ごみの再資源化検討

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	7	1,565	1,565	1,565	1,565
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	7	1,565	1,565	1,565	1,565

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1人1日あたりのごみ総排出量	目標	-	922g/人・日	915g/人・日	907g/人・日	905g/人・日	899g/人・日
	実績						
評価指標設定理由							
ごみの減量化を図れる指数であるため	評価	-					

No.	1	戦略目標	まもる	施策名	自治・コミュニティの振興	分類	継続
実施計画事業名	コミュニティ推進事業		予算書事業名	自治振興事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	各自治会の活動推進及び充実を図ると共に、自治会、区長、区長会等との連絡・調整・支援を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	<ul style="list-style-type: none"> 自治・コミュニティの推進について、自治会などはその目的にあった事業を推進し、地域住民の参加のもと、町はその活動を支援することが重要である。支援については、区長会等の協力を得て、自治会の課題やニーズを把握したなかで、補助事業の見直しや効果的な方法への改善、助言などを行う。自治会等の活動の充実化を図り、誰もが参加しやすいような環境整備を推進する。 集会所の修繕等の必要性を把握するため、各自治会に対してアンケート調査を行い、結果を基に補助金のメニューや補助率を適宜検討する。 新型コロナウイルス感染症による自治会離れを抑制するため、アフターコロナを見据えたコミュニティ活動について、代表区長会議を通じて検討し推進する。 地区再編について、行政区の人口が少ない地区や、自治会と行政区の単位が異なる地区を優先に検討する。
------	---	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	19,221	20,643	22,784	22,784	22,784
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,600		2,141	2,141
一般財源	17,621	20,643	20,643	20,643	20,643

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自治会加入率	目標	-	77.6%	78.2%	78.8%	79.4%	80.0%
	実績	77.0%					
評価指標設定理由	評価	-					
自治会加入率の増減により測定する。1年ごとに0.6%ずつ増加し、R7年度に80.0%の自治会加入率を達成する。							

No.	2	戦略目標	まもる	施策名	消防・防災体制の充実	分類	継続
実施計画事業名	災害対策事業		予算書事業名	自主防災組織育成事業	関連計画	地域防災計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	自主防災組織への防災意識の向上や、防災体制の支援などをとおして、地域防災力の向上を図り、安全・安心なまちづくりを推進する。	評価の考え方及び今後の対応策	自主防災組織ごとに、防災を推進する人材が不足しているため、防災意識が高い地区と低い地区と差がでている。今後の対応策としては、地域防災リーダーを育成し、各地区に配置することで、地区の防災力を推進する必要がある。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 防災養成研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 防災養成研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 防災養成研修の実施

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	3,878	2,932	3,253	3,275	3,319
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	3,878	2,932	3,253	3,275	3,319

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域防災リーダーの人数	目標	-	8人	9人	11人	13人	15人
	実績	7人					
評価指標設定理由	評価	-					
地域の防災リーダーを育成するため、5年で2倍の15人を想定し、その5年後にさらに2倍の30人を設定した。							

No.	3	戦略目標	まもる	施策名	人権尊重・男女共同参画の推進	分類	継続	
実施計画事業名	男女共同参画推進事業		予算書事業名	男女共同参画推進事業	関連計画	川島町男女共同参画推進計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	固定的な性別役割分担意識や女性への人権の軽視が根強く残っており、性別に関わりなく個人として能力を発揮できる機会が確保され、人権が尊重されている社会の実現を目指し、【意識づくり】【環境づくり】【社会づくり】の3つの柱を基本として、啓発や講座・研修会の開催など、各種施策を実施する。	評価の考え方 及び 今後の対応策	事業の成果を確認するとともに、事業の見直しや効果的な方法への改善など、次の事業に活かすため、男女共同参画推進委員会の協力を得て推進する。
------	---	------------------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	・第2次川島町男女共同参画推進計画の策定(委員会開催、意識調査、計画書印刷) ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	596	239	269	269	269
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	596	239	269	269	269

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人権教育に満足していない町民の割合	目標	-	10.6%	10.3%	10.1%	9.9%	9.7%
	実績	10.9%					
評価指標設定理由	評価	-					
町民アンケートにより、人権教育に対して満足していない町民の割合を測定する。 前回アンケートからの大いに不満に思う方の減少割合を目標に設定(5年間で1.2%減少)							

No.	4	戦略目標	まもる	施策名	交通安全の推進	分類	継続
実施計画事業名	交通安全対策事業		予算書事業名	交通安全対策事業		関連計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	交通安全運動や交通安全教育など、交通事故防止のための普及推進・交通安全施設である防犯灯の設置や適正な維持管理を進める。	評価の考え方及び今後の対応策	交通事故の発生を抑えるのが目的であるため、その発生件数を指標とした。交通事故減少のため、町民の交通安全意識の高揚、普及啓発・交通安全教育の推進を取組として、継続的に実施していく
------	---	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全母の会連合会への補助 交通安全協会川島支部への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全母の会連合会への補助 交通安全協会川島支部への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全母の会連合会への補助 交通安全協会川島支部への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全母の会連合会への補助 交通安全協会川島支部への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全母の会連合会への補助 交通安全協会川島支部への補助

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	8,735	9,710	9,710	9,710	9,710
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	8,735	9,710	9,710	9,710	9,710

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交通事故発生件数(人身事故)	目標	-	68件	66件	64件	62件	60件
	実績	69件					
評価指標設定理由							
1年間に2件の事故発生件数を減らし、R7は60件とする。	評価	-					

No.	5	戦略目標	まもる	施策名	健康づくりの推進	分類	継続	
実施計画事業名	健康管理システム整備事業		予算書事業名	保健衛生総務費	関連計画	川島町健幸長寿のまちづくり推進計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	町民の健康診査やがん検診、予防接種等の記録の電子台帳として、住民の健康管理を一元的に行うもの。	評価の考え方 及び 今後の対応策	各種検診、予防接種、母子保健事業のデータ管理を行っている。 基本データと保健事業管理データは別会社であり、データの更なる活用のためには、データ管理の統一を図る必要がある。
------	---	------------------------	--

各年度の 事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上、改修)	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	3,245	5,800	3,377	3,377	3,377
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	3,245	5,800	3,377	3,377	3,377

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
町民の健康寿命 (日常生活を制限されることなく健康的な生活を送ることのできる期間の延伸を目指す)	目標	-			男女ともに+1歳		
	実績	男性17.41歳 女性20.48歳			男性18.41歳 女性21.48歳		
評価指標設定理由	評価	-					
健康寿命については、H26年度(男性16.41歳、女性19.56歳)とH30年度(男性17.4歳、女性20.48歳)を比較すると、4年間で男性1.06歳、女性0.92歳延びており、5年間で男女ともに健康寿命の延伸1歳を目指す。							

No.	6	戦略目標	まもる	施策名	福祉のまちづくり	分類	継続	
実施計画事業名	社会福祉総務事業		予算書事業名	社会福祉協議会補助事業	関連計画	川島町地域福祉計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	地域福祉の総合的な担い手である社会福祉協議会に対し、運営費や事業費を補助することで、社会福祉協議会の安定的な運営と福祉事業の活性化を促進する。	評価の考え方及び今後の対応策	町民ボランティアやボランティア団体を育成し、町や社会福祉協議会以外の地域福祉の担い手として活動していただく。ボランティア数の増加は活動の多様化や活性化につながっていく。また、高齢者のいきがいづくりとしてのボランティア活動も目的とする。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	20,669	20,436	20,411	20,411	20,411
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	20,669	20,436	20,411	20,411	20,411

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福祉ボランティアの人数	目標	-	30人	35人	40人	45人	50人
	実績	26人					
評価指標設定理由							
地域福祉の担い手を育成し、地域で支え合う取組の活性化を図るため	評価	-					

No.	7	戦略目標	まもる	施策名	障がい者福祉の充実	分類	継続	
実施計画事業名	障害者自立支援事業		予算書事業名	障害者生活支援事業	関連計画	川島町障がい者計画・川島町障がい福祉計画・障がい児福祉計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	聴覚障がい者のための手話通訳の派遣や障がいにより低下した身体機能を補うための日常生活用具の給付、屋外での移動が困難な方への移動支援等により、障がい者が在宅で生活していくうえで、必要な支援を実施していく。	評価の考え方及び今後の対応策	障がい者の地域生活を支えていくための機関である、地域生活支援拠点を開設する。利用者数の増加は、障がい者の地域生活や自立支援につながるものと考えられる。
------	---	----------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業補助 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業補助 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業補助 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業補助 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業補助

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	9,919	13,719	13,773	13,773	13,773	
財源内訳	国庫支出金	5,004	4,068	3,538	3,538	3,538
	県支出金	2,502	2,608	2,268	2,268	2,268
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,413	7,043	7,967	7,967	7,967

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域生活支援拠点の利用者数	目標	-	設置準備	設置準備	開設	5人	10人
	実績	設置準備					
評価指標設定理由	評価	-					
地域生活支援拠点は障がい者の地域生活や自立を支えていくための機関であり、令和5年度中の開設を目指している。当機関の利用者が増加することで、障がい者の自立に向けた取組みが機能していることが確認できるため							

No.	8	戦略目標	まもる	施策名	高齢者福祉の充実	分類	継続	
実施計画事業名	生活支援体制整備事業		予算書事業名	生活支援体制整備事業費	関連計画	川島町高齢者福祉計画・介護保険事業計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	誰もが住み慣れた地域社会で暮らし続けることができるよう、高齢者を地域で支える仕組みを構築する。はじめは町民の集いの場としてスタートし、町民同士の支え合い活動として発展させていく。	評価の考え方及び今後の対応策	支え合いの場の開催回数が増えていくことにより、町民同士の交流や活動が活性化していくと考えられる。どのような支え合い活動が可能か等について、情報提供していくとともに活動の支援を行っていく。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・生活支援体制整備事業の実施 →社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置	・生活支援体制整備事業の実施 →社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置	・生活支援体制整備事業の実施 →社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置	・生活支援体制整備事業の実施 →社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置	・生活支援体制整備事業の実施 →社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	4,009	4,009	4,009	4,009	4,009
財源内訳	国庫支出金	2,423	2,443	2,443	2,443
	県支出金	770	770	772	772
	地方債				
	その他				
一般財源	816	816	794	794	794

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支え合いの場の開催回数	目標	-	126回	137回	148回	159回	170回
	実績	115回					
評価指標設定理由							
支え合いの場とは、高齢者を中心とした地域の集いの場であり、町民同士の支え合い活動への発展が期待される。開催が増えることで、様々な取組みへつながっていくため	評価	-					

No.	9	戦略目標	まもる	施策名	社会保障の充実	分類	継続	
実施計画事業名	特定健康診査等事業		予算書事業名	特定健康診査等事業費	関連計画	川島町国民健康保険保健事業実施計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	特定健診を実施し、疾病の早期発見・治療・予防に努め、町民1人ひとりの健康の保持増進と医療費の適正化を図り、「健康寿命の延伸」を目指す。	評価の考え方及び今後の対応策	平成28年度より胃がん検診と骨密度測定を集団健診時と同日実施、平成29年度からは歯科検診の同日実施、また県の推奨する生活習慣病重症化予防対策共同事業に参加し実施することにより一定の効果が得られた。引き続き更なる受診率向上のため、事業の見直しを行っていく。
------	---	----------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施 特定健診受診促進をするために、特定健診とがん検診受診者に対して、抽選会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の受診率向上を図るため、埼玉県国保ヘルスアップ事業に参加し、AIを用いた特定健診未受診者勧奨、特定保健指導未利用者勧奨を実施 受診勧奨及び特定保健指導未受診者勧奨については次年度の手法について検討 特定健診受診促進をするために、特定健診とがん検診受診者に対して、抽選会を実施 抽選会については、3年間の効果を検証し、次年度からの事業について検討 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施 前年度の受診勧奨を参考にした勧奨方法を導入 健診を継続して受診するようインセンティブを実施 健(検)診受診者へ町制施行50周年と連動した抽選によるインセンティブの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施 令和3年度に検討した事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施 令和3年度に検討した事業を実施

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	20,685	22,911	22,911	22,911	22,911	
財源内訳	国庫支出金	3,871	10,167	3,500	3,500	3,500
	県支出金	3,871	10,167	3,500	3,500	3,500
	地方債					
	その他					
	一般財源	12,943	2,577	15,911	15,911	15,911

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国民健康保険健康診断受診率	目標	-	45%以上	50%以上	53%以上	56%以上	60%以上
	実績	42.8%					
評価指標設定理由							
特定健診の受診率と特定保健指導の受診率も向上させることにより、町民一人ひとりの健康保持増進と医療費の適正化を図り、「健康寿命の延伸」を目指す。	評価	-					

No.	10	戦略目標	まもる	施策名	ごみ処理適正化の推進	分類	継続
実施計画事業名	新ごみ処理施設整備推進事業	予算書事業名	新ごみ処理施設整備推進準備事業	関連計画	一般廃棄物処理基本計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	ごみ処理施設を整備するため、計画等の策定を行う。	評価の考え方 及び 今後の対応策	将来的にごみ処理施設を整備するため、計画等の策定を行っていく。今後、広域の合意次第で方向性が決定していく。
------	--------------------------	------------------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要		<ul style="list-style-type: none"> 施設整備の検討 視察会に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会形成推進地域計画の策定 施設整備基本構想の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備基本計画の策定 PFI等導入可能性調査の実施 測量・地質調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 環境影響評価の実施 土地の購入
今後の事業の進捗状況によって変更となる可能性あり					

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	—	350	11,000	36,800	358,500
財源内訳	国庫支出金			6,400	17,600
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	#VALUE!	350	11,000	30,400	340,900

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ごみ処理施設整備計画の進捗	目標	-	建設用地選定	建設用地選定	事業方式の検討	事業方式の検討	ごみ処理事業方式の決定
	実績						
評価指標設定理由							
新ごみ処理施設を建設する上で必要なプロセスであるため	評価	-					

No.	11	戦略目標	まもる	施策名	自然環境と共生するまちづくり	分類	継続	
実施計画事業名	公害対策事業		予算書事業名	公害対策事業	関連計画	川島町地球温暖化対策実行計画 (事務・事業編)	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	町内の大気・水質等の状況を調査し、住みよい環境づくりと町の事務・事業に関し、温室効果ガスの削減を図るための事業。また、川島町地球温暖化対策実行計画により、町の事務・事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガス排出量の削減を推進する。	評価の考え方 及び 今後の対応策	川島町地球温暖化対策実行計画では、平成28年度の温室効果ガス(CO2)排出量を基準とし、令和5年度に5%以上削減することを目標としている。そのため、温室効果ガス(CO2)排出量の削減値を指標としている。なお令和2年度においてすでに、5%以上の削減見込みのため新たな目標値として令和5年度に15%以上とする。
------	--	------------------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	・比企河川合同水質調査業務の実施 ・ダイオキシン測定業務の実施 ・埼玉県西部地区環境事務研究会への参画	・比企河川合同水質調査業務の実施 ・ダイオキシン測定業務の実施	・比企河川合同水質調査業務の実施 ・ダイオキシン測定業務の実施 ・埼玉県西部地区環境事務研究会への参画	・比企河川合同水質調査業務の実施 ・埼玉県西部地区環境事務研究会への参画	・比企河川合同水質調査業務の実施 ・埼玉県西部地区環境事務研究会への参画

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	2,801	2,538	2,545	1,679	1,679
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	56	56	56	56
	地方債				
	その他				
一般財源	2,745	2,482	2,489	1,623	1,623

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公共施設におけるCO2排出量削減率(H28比)	目標	-	11%削減	13%削減	15%削減	17%削減	20%削減
	実績	9%削減					
評価指標設定理由	評価						
令和5年度には、平成28年度比15%以上、令和7年度には、平成28年度比20%以上のCO2の削減を目指す。		-					

No.	12	戦略目標	まもる	施策名	緑あふれる安心空間の整備	分類	継続
実施計画事業名	都市公園等の維持管理の充実		予算書事業名	都市公園等管理事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	定期的な点検調査を実施し、計画的に補修・更新を行うことで、利用者の安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減を図りながら、将来にわたって適正に維持管理していく。施設防犯を重視し、安心で清潔な利用しやすい整備を実施し、利用促進を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	平成の森公園のリニューアル計画に合わせて、施設整備を行っていくのが理想的だが、施設設備の老朽化が進んでいる為今後、緊急性を要する修繕等が想定される。また、年齢や性別、文化、言語、障がいの有無などに関わらず、どんな人でも利用ができる公園として、ユニバーサルデザイン化を進めていく。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・各公園の管理	・各公園の管理	・各公園の管理	・各公園の管理	・各公園の管理

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	64,841	64,321	63,782	104,617	85,797
財源内訳	国庫支出金			2,500	9,000
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	64,841	64,321	63,782	102,117

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公園・緑地整備に対する満足度	目標	-	25.3%	25.3%	25.3%	25.3%	28.0%
	実績						
評価指標設定理由							
インター南側地区区画整理事業による公園・緑地の整備、鳥羽井沼周辺公園化、平成の森公園リニューアル、高台避難所の公園化などにより満足度を向上させる。		-					

No.	13	戦略目標	まもる	施策名	安心して暮らすための河川の整備	分類	継続
実施計画事業名	排水路整備事業		予算書事業名	河川改良事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	河川・排水路を整備することで、冠水被害の防止を図る。 河川・排水路の整備については、下流から整備を行うことにより流れを確保し、住民の生命・財産を守る。	評価の考え方 及び 今後の対応策	令和元年度東日本台風による被災で、河川・排水路整備の優先順位付けについて、再検討する必要性が生じたことから、対応策として、内水氾濫箇所の確認を行い、効果的な整備箇所の選定を行い計画的に整備を進めていく。
------	--	------------------------	---

各年度の 事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・排水路整備工事の実施	・排水路整備工事の実施 ・排水路測量業務の実施	・排水路整備工事の実施 ・排水路測量業務の実施	・排水路整備工事の実施 ・排水路測量業務の実施	・排水路整備工事の実施

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	5,720	16,785	34,950	34,950	34,950
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	5,720	16,785	34,950	34,950	34,950

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
用排水路整備に対する満足度(%)	目標	-	15.8%	18.1%	20.4%	22.7%	25.0%
	実績	13.6%					
評価指標設定理由							
冠水被害の減少について、排水路整備に対する満足度により測定する。	評価	-					

No.	14	戦略目標	まもる	施策名	住みよいまちづくり	分類	継続
実施計画事業名	都市計画推進事業		予算書事業名	都市計画総務事業	関連計画	建築物耐震改修促進計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	昭和56年5月31日以前の建築物を対象に、大地震発生の際の耐震性を増大するため、耐震診断・耐震改修の実施を促進し、災害に強いまちづくりの推進を図る。また、定住促進やいつまでも住み続けられる環境を形成するため、空き家等の適正管理や流通の促進し、だれもが住み続けたいような住環境を創出する。	評価の考え方及び今後の対応策	耐震診断・改修補助については、改築を望む方が多く、補助制度利用者が少ない傾向にある。災害に対する危機意識を高めるため、広報やHPにおいて、積極的に周知していく。また、近年適切な管理がされていない空き家等が増加している。今後、解体費用の一部助成等により解体を促進することで、住民の生活環境の保全を図っていく。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・耐震診断、改修等の補助	・耐震診断、改修等の補助 ・空き家対策計画の策定	・耐震診断、改修等の補助 ・建築物耐震改修促進計画の改定 ・空き家対策の実施	・耐震診断、改修等の補助 ・空き家対策の実施	・耐震診断、改修等の補助 ・空き家対策の実施

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	0	300	4,700	2,300	2,300	
財源内訳	国庫支出金	0	100	2,300	1,100	1,100
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	0	200	2,400	1,200	1,200	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
住宅リフォーム・耐震等制度利用件数	目標	-	74件 (うち耐震0件) (うち福祉50件) (うち農政24件)	100件 (うち耐震0件) (うち福祉60件) (うち農政40件)	101件 (うち耐震1件) (うち福祉60件) (うち農政40件)	111件 (うち耐震1件) (うち福祉70件) (うち農政40件)	121件 (うち耐震1件) (うち福祉80件) (うち農政40件)
	実績						
評価指標設定理由	評価	-					
冠水被害の減少について、排水路整備に対する満足度により測定する。							

No.	15	戦略目標	まもる	施策名	上下水道の整備・維持管理	分類	継続	
実施計画事業名	雨水幹線整備事業		予算書事業名	管渠建設改良費(雨水)	関連計画	川島町公共下水道事業計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	市街化区域の浸水対策として、主要な雨水幹線の整備を計画的に推進する。	評価の考え方 及び 今後の対応策	飯島3号雨水幹線については、平成30年度より工事を着手し、令和4年度までに計画区間の工事を行う。 飯島6号雨水幹線については、令和元年度より工事を着手し、令和3年度までに計画区間の整備を行う。
------	------------------------------------	------------------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・飯島3号雨水幹線の工事 ・環境事前調査の実施 ・環境事後調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○飯島6号雨水幹線 ・飯島6号雨水幹線の工事 ・環境事前調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・飯島3号雨水幹線の工事 ・環境事前調査の実施 ・環境事後調査の実施 ・実施設計業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○飯島6号雨水幹線 ・飯島6号雨水幹線の工事 ・環境事後調査の実施 ・実施設計業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・飯島3号雨水幹線の工事 ・環境事前調査の実施 ・環境事後調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・飯島3号雨水幹線の工事 ・環境事前調査の実施 ・環境事後調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・環境事後調査の実施

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	541,916	391,190	231,000	230,000	2,700
財源内訳	国庫支出金	247,000	170,000	107,000	107,000
	県支出金				
	地方債	247,000	170,000	107,000	107,000
	その他	258			
一般財源	47,658	51,190	17,000	16,000	2,700

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
飯島雨水幹線整備進捗率	目標	-	69.0%	69.5%	70.0%	70.5%	71.0%
	実績	68.5%					
評価指標設定理由							
市街化区域の浸水対策として計画的に整備をする。	評価	-					

No.	16	戦略目標	まもる	施策名	安全に通行できる道路の整備	分類	継続
実施計画事業名	主要幹線道路整備事業		予算書事業名	道路新設改良事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	主要幹線道路の車道及び歩道の整備を行なうことで、安全の確保と生活環境の改善を図る。 歩道を整備することにより、通学路の安全確保及び周辺住民の安全や住環境を改善する。	評価の考え方及び今後の対応策	道路計画について、周辺住民への説明に時間を要したため、事業の進捗が遅れが生じた。 全体への説明うい実施、総意は得られたため、今後については順次整備を進めていく。
------	---	----------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	○1・2級町道 ・CBR調査業務の実施 ・設計業務の実施 ・物件調査業務の実施	○1・2級町道 ・物件調査業務の実施 ・用地測量業務の実施 ・道路改良工事の実施	○1・2級町道 ・用地測量業務の実施 ・道路改良工事の実施	○1・2級町道 ・道路改良工事の実施	○1・2級町道 ・道路改良工事の実施

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	21,653	52,676	22,917	22,917	22,917
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	21,653	52,676	22,917	22,917	22,917

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
幹線町道の歩道整備率(%)	目標	-	32.9%	32.9%	32.9%	33.0%	33.4%
	実績	32.9%					
評価指標設定理由							
安全な歩行者の通行について、幹線町道の歩道整備率により測定する。	評価	-					

No.	17	戦略目標	まもる	施策名	持続可能な公共交通網の形成	分類	継続	
実施計画事業名	地域公共交通対策事業		予算書事業名	地域公共交通対策事業	関連計画	川島町地域公共交通網形成計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	町の公共交通施策について協議する地域公共交通会議の運営や、日常生活で自家用車による移動が困難な方への支援策「かわみんタクシー」の運行、バス利用を促進するためのバスイベント開催、地域公共交通網形成計画の進行管理等を行う。 東武バスを維持するため、利用促進施策や東武バスウエストとの協議を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	かわみんタクシーは好評だが、費用負担の増大が課題である。かわみんタクシー運行内容変更による財政負担の軽減や東武バス川島町役場線の維持または経路変更に向けた協議、輸送資源の総動員による移動支援施策の拡充を図る。今後、町民の公共交通の利便性の向上を図るため、移動手段の充実に官民連携しながら図っていく。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 元気なバス需要創出モデル事業の実施 かわみんタクシー利用実績の分析 地域公共交通会議の運営 	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 東武バス川島町役場線の運行補助 地域公共交通会議の運営 バス停待合所の工事 	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 地域公共交通会議の運営 地域公共交通計画の策定 バスティバルの開催 	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 地域公共交通会議の運営 バスティバルの開催 	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 地域公共交通会議の運営 バスティバルの開催

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	30,727	35,195	37,346	34,606	34,346
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	30,727	35,195	37,346	34,606	34,346

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公共交通に対する満足度	目標	-	8.0%	8.5%	9.0%	9.5%	10.7%
	実績	7.4%					
評価指標設定理由	評価	-					
公共交通の満足度をあげることで、町民の公共交通に対する利便性や移動手段の充実が図られることから指標を設定した。							

No.	18	戦略目標	まもる	施策名	農地保全と有効利用	分類	継続
実施計画事業名	農地中間管理事業		予算書事業名	農地集積事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	耕作放棄地の増加を防止するとともに、将来にわたって優良農地を引き継いでいくため、農地中間管理事業を活用し、担い手農家への農地の集積を進める。また、農地所有者が農地の貸付けに困らないよう、農業委員・農地最適化推進委員等と連携し、農地の集積・集約化を計画的に行う。	評価の考え方及び今後の対応策	現在の担い手から次の世代へ引き継いでいくための方策を検討しなければならない。農業用機械の大型化に伴い、農道整備などの要望があるが、多額の費用がかかるため進んでいない。効率化を図るためにも、基盤整備は重要な課題となっている。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・耕作条件改善事業への参画	・耕作条件改善事業への参画	・耕作条件改善事業への参画 ・公社営 北園部農道整備事業への参画	・耕作条件改善事業への参画 ・埼玉型圃場整備の実施(約40ha)	・耕作条件改善事業への参画 ・埼玉型圃場整備の実施(約40ha)

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	6,861	7,526	19,362	15,762	15,762
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3,543	3,606	4,356	4,356
一般財源	3,318	3,920	15,006	11,406	11,406

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農地集積面積	-	750ha	770ha	780ha	790ha	800ha
評価指標設定理由	実績	692ha				
農地中間管理事業を活用した農地の集積面積を指標とする	評価	-				

No.	19	戦略目標	まもる	施策名	公共施設の適正な管理	分類	継続	
実施計画事業名	公共施設等総合管理事業		予算書事業名	公共施設等総合管理事業	関連計画	公共施設個別施設計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	人口減少や財政状況を踏まえ、個々の公共施設の状況を把握し、長期的な視点による更新・統廃合、長寿命化等を計画的に推進し、公共施設の適正な運用を図ります。	評価の考え方及び今後の対応策	実施計画を用いて、PDCAを確立。各施設の長寿命化、統廃合、集合化、集約化を計画的に取り組んでいく。膨大な更新費用がかかることが予想されるため、財源の確保(基金の積立等)においても計画的に実行していく。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・公共施設個別施設計画策定(建物)	・公共施設等総合管理計画改訂 ・公共施設個別施設計画のPDCA方法確立及び実施	・公共施設個別施設計画のPDCA	・公共施設個別施設計画のPDCA	・公共施設個別施設計画のPDCA

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	6,790	1,958	0	0	0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	6,790	1,958	0	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延床面積総量削減率(H28比)	目標		削減調整	削減調整	削減調整	削減調整	3.0%
	実績	1.7%					
評価指標設定理由	個別施設計画における目標						
	評価	-					

No.	20	戦略目標	まもる	施策名	適正な行財政運営の推進	分類	継続
実施計画事業名	計画行政推進事業		予算書事業名	計画行政推進事業	関連計画	川島町総合振興計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	社会情勢の急激な変化に対応し、持続可能なまちづくりを推進するため、財源の確保や費用対効果を踏まえた効率的な行財政運営に取り組む。	評価の考え方及び今後の対応策	評価指標として設定した経常収支比率をより適正な状態に維持するため、施策を効果的・効率的に実施する必要がある。このため、外部組織である「川島町総合振興計画審議会」による事業評価や検証を行い、PDCAサイクルの適切な運用により町政運営の推進を図る。
------	--	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合振興計画の策定（基本構想・基本計画検討、骨子作成） 総合振興計画審議会の開催 明治大学ゼミとの共同研究 埼玉縣信用金庫との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合振興計画の策定（計画策定、計画書製本） 総合振興計画審議会の開催 明治大学ゼミとの共同研究 埼玉縣信用金庫との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画審議会の開催 明治大学ゼミとの共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画審議会の開催 明治大学ゼミとの共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画審議会の開催 明治大学ゼミとの共同研究

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	2,829	4,651	700	700	700
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	2,829	4,651	700	700	700

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支比率	目標	-	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
	実績	85.6%					
評価指標設定理由	評価	-					
財源の確保を始めとしたまちづくりの持続性を保ち、費用対効果を踏まえた効率的な行財政運営の検証に適した指標であるため。							

戦略目標2 つなぐ「未来に向けて人と人をつなぐ」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R4	R5	R6
重要1	つどいの場の創出	地域学校協働活動 ～学校開放・地域げんきづくり事業～	1,887	1,887	1,887
重要2	新しい自治体コミュニケーションの推進	住民力結集事業	562	632	697
1	多文化共生社会の推進	外国人支援事業	611	611	611
2	ふれあいの場の充実	住民サロン事業	398	398	398
3	いきがいの創出	コミュニティ推進事業（再掲）	22,784	22,784	22,784
4	青少年の地域参加の推進	子育て支援総合センター管理運営事業	26,014	26,229	26,446
5	新しいつながりの創出	ふるさと納税推進事業	35,000	50,000	50,000
6	文化財の保護・活用及び伝統文化の継承	文化財保護事業	11,473	2,444	2,444
7	デジタル化の推進	戸籍住民登録管理事業	17,326	10,187	11,489
8	広域連携の推進	広域行政推進事業	3,070	3,070	3,070
年度ごと概算事業計			119,125	118,242	119,826

戦略目標2 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくりの町民参加の促進に関する満足度	目標	-	11.0%	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%
	実績	10.7%					
評価指標設定理由	評価	-					
戦略目標2で掲げる取組の成果を測定するため、「まちづくりの町民参加の促進に関する満足度」を設定し、町民の皆さまが協働のまちづくりに一定の満足感を持っているかを確認する。							

No.	重要1	戦略目標	つなぐ	施策名	つどいの場の創出	分類	継続
実施計画事業名	地域学校協働活動推進事業	予算書事業名	地域学校協働活動推進事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	地域と学校がお互いに協力して、子どもを中心に大人もまなび・活動できる「みんなの居場所(ひろば活動)」をつくることで、地域全体で子どもを育てるとともに、地域をげんきにするための国庫補助事業。	評価の考え方及び今後の対応策	地域学校協働活動(ひろば活動)の魅力が高まれば利用者の増加につながることを考え評価指標を設定した。対応策としては、地域学校協働活動で多様な魅力的な講座やイベントを開催することで、指標の目的を達成する。
------	--	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	883	1,887	1,887	1,887	1,887
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	587	1,258	1,258	1,258
	地方債				
	その他				
一般財源	296	629	629	629	629

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域学校協働活動参加者数	目標	-	3,900人	4,100人	4,300人	4,500人	4,752人
	実績	1,404人					
評価指標設定理由	評価	-					
地域学校協働活動(ひろば活動)の魅力が高まれば利用者の増加につながると考え評価指標を設定した。この目標値は、2地区で、年間48回ひろばを実施した場合の評価値である。							

No.	重要2	戦略目標	つなぐ	施策名	新しい自治体コミュニケーションの推進	分類	継続
実施計画事業名	住民力結集事業		予算書事業名	住民力結集事業		関連計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	かわじま☆未来塾を運営し、町民と町職員が協働で調査研究と政策立案・企画を行うことにより、町全体の政策形成力を高め、未来に希望ある魅力的なまちづくりを目指す。また、政策形成過程を通じて、地域を支えるリーダーを養成する。近年、塾生の自主的な活動を促進する中で、かわじま☆未来塾の活動理念を「川島町をもっと良くするためのサポート活動」と定めた。また、公募委員候補者名簿登載者を募集するアンケートを年1回実施している。	評価の考え方及び今後の対応策	かわじま☆未来塾については、塾生数の確保と活動の質の向上が課題となっている。塾生にて議論したところ、喫緊の課題は塾生数の確保であることから、数年は興味喚起を図る取組が必要である。公募委員候補者については、登録者数が180名を超えたことから、既存登録者の取扱等について議論すべき段階にあると考える。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 まちづくり活動団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	596	6,045	562	632	697
財源内訳	国庫支出金	2,750			
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	596	3,295	562	632	697

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
かわじま☆未来塾によるまちづくり活動数	目標	-	50回	60回	70回	80回	100回
	実績	40回					
評価指標設定理由	評価	-					
まちづくり活動の回数増加・充実を目指す過程で町と課題の共有等を図ることで、施策の目的である「町とのコミュニケーションの充実」につなげることができる。							

No.	1	戦略目標	つなぐ	施策名	多文化共生社会の推進	分類	継続	
実施計画事業名	外国人支援事業		予算書事業名	外国人支援事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	町内在住外国人に対する国際交流事業の実施や日本語学習等の支援を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	特定非営利活動法人と委託契約を結び、支援事業を実施している。支援内容としては、町内在住外国人に対する日本語学習支援が中心となっている。その取組に加えて、地域住民との交流事業の実施回数を増やし、多様な文化を受け入れ、共生する機運を醸成する事業の実施を行う。
------	------------------------------------	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・特定非営利活動法人の活動支援 ・交流事業の実施	・特定非営利活動法人の活動支援 ・交流事業の実施	・特定非営利活動法人の活動支援 ・交流事業の実施	・特定非営利活動法人の活動支援 ・交流事業の実施	・特定非営利活動法人の活動支援 ・交流事業の実施

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	542	611	611	611	611
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	542	611	611	611	611

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
町内在住外国人と地域住民との交流事業実施回数	目標	-	1回	1回	2回	3回	4回
	実績	1回					
評価指標設定理由							
多文化共生の機運の醸成度を交流事業の実施回数により測定する。 事業内容を整理し、軌道に乗り次第、毎年1事業ずつ増やし、R7に事業数4回を達成する。	評価	-					

No.	2	戦略目標	つなぐ	施策名	ふれあいの場の充実	分類	継続	
実施計画事業名	住民サロン事業		予算書事業名	住民サロン事業	関連計画	川島町地域福祉計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	地域住民の自主的な活動により、子どもから高齢者までの多世代が集う居場所(サロン)の設置及び活動支援を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	気軽に集まれる小さな拠点が増えていくことにより、町民同士のふれあいによる地域コミュニティの活性化や世代間交流が促進される。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	450	398	398	398	398
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金		0		
	地方債				
	その他				
一般財源	450	398	398	398	398

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
通いの場・小さな拠点の箇所数	目標	-	34箇所	37箇所	40箇所	43箇所	47箇所
	実績	31箇所					
評価指標設定理由							
各地区に地域のすべての方が気軽に集まれる小さな拠点が増えていくことにより、町民同士のふれあいによる地域コミュニティの活性化や世代間交流が促進されるため	評価	-					

No.	3	戦略目標	つなぐ	施策名	いきがいの創出	分類	継続
実施計画事業名	コミュニティ推進事業(再掲)		予算書事業名	自治振興事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	各自治会の活動推進及び充実を図ると共に、自治会、区長、区長会等との連絡・調整・支援を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	<ul style="list-style-type: none"> 自治・コミュニティの推進について、自治会などはその目的にあった事業を推進し、地域住民の参加のもと、町はその活動を支援することが重要である。支援については、区長会等の協力を得て、自治会の課題やニーズを把握したなかで、補助事業の見直しや効果的な方法への改善、助言などを行う。自治会等の活動の充実化を図り、誰もが参加しやすくなるような環境整備を推進する。 集会所の修繕等の必要性を把握するため、各自治会に対してアンケート調査を行い、結果を基に補助金のメニューや補助率を適宜検討する。 新型コロナウイルス感染症による自治会離れを抑制するため、アフターコロナを見据えたコミュニティ活動について、代表区長会議を通じて検討し推進する。 地区再編について、行政区の人口が少ない地区や、自治会と行政区の単位が異なる地区を優先に検討する。
------	---	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	19,221	20,643	22,784	22,784	22,784
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,600		2,141	2,141
一般財源	17,621	20,643	20,643	20,643	20,643

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域におけるコミュニティ活動への満足度	目標	-	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%	16.0%
	実績	11.1%					
評価指標設定理由	評価	-					
自治会が中心となって実施する地域のコミュニティ活動への満足度を向上することにより、町民の日常生活を送る上でいきがいを測定する。							

No.	4	戦略目標	つなぐ	施策名	青少年の地域参加の推進	分類		継続	
実施計画事業名	子育て支援総合センター運営事業		予算書事業名	子育て支援総合センター運営事業		関連計画	川島町子ども・子育て支援事業計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	安心して出産・子育てができるよう、子育て親子が気軽に集い交流できる施設（子育て支援総合センター「かわみんハウス」）として運営する。青少年健全育成に寄与するため、中高生が参加する事業を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	<p>中高生自らが企画した事業の実施を目指す。</p> <p>①かわみんハウスに中高生を集める。とっかかり・かわりを持ってもらう。</p> <p>②かわみんハウス事業に青少年相談員等の協力</p> <p>③中高生自らの企画した事業の展開を実施</p> <p>実行委員会を立ち上げ、どのようなプログラムにするか、中高生が参加しやすいか等企画を練り上げ、事業を行うように、支援を行う。</p>
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	26,574	25,801	26,014	26,229	26,446	
財源内訳	国庫支出金	3,544	2,944	2,991	2,991	2,991
	県支出金	2,944	2,944	2,991	2,991	2,991
	地方債					
	その他	113	125	125	125	125
	一般財源	19,973	19,788	19,907	20,122	20,339

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子育て支援センターにおける 中高生参加事業数	目標	-	0件	2件	2件	2件	2件
	実績	2件					
評価指標設定理由	評価	-					
中高生が企画した事業の実施を目指し、青少年健全育成に寄与するため、参加事業数を増やし、事業内容を充実するため。							

No.	5	戦略目標	つなぐ	施策名	新しいつながりの創出	分類	継続
実施計画事業名	ふるさと納税推進事業		予算書事業名	ふるさと納税推進事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	本町にふるさと納税寄附金を行った町外に居住する方に対して、特産品等を贈呈することにより、ふるさと納税寄附金の推進を図り、町財政に資するとともに、町の特産品、地元企業等をはじめ、町全体のPRに寄与することを目的としている。	評価の考え方及び今後の対応策	<ul style="list-style-type: none"> 新たに注目を集めるお礼の品を追加し、寄附の増加につなげたいが、目立ったものが見出せないでいる。 寄附の用途について、明確な事業を示す必要がある。 地域商社への事務移行及び連携方法の模索
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 新規返礼品の追加 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 地域商社との連携に係る調整 既存の返礼品の複合化など発想の転換を行ったうえで、返礼品数の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 地域商社との連携による事業の実施(返礼品点数増に向けた事業者募集強化) 既存の返礼品の複合化など発想の転換を行ったうえで、返礼品数の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 地域商社との連携による事業の実施(高付加価値/高価格帯の返礼品開発・寄附PR/リピート促進) 既存の返礼品の複合化など発想の転換を行ったうえで、返礼品数の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 地域商社との連携による事業の実施(高付加価値/高価格帯の返礼品開発・寄附PR/リピート促進) 既存の返礼品の複合化など発想の転換を行ったうえで、返礼品数の増加を図る。

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	20,002	24,235	35,000	50,000	50,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	20,002	24,235	35,000	50,000	50,000

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ふるさと納税寄附件数	目標	-	3,000件	3,500件	4,000件	4,500件	5,000件
	実績	2,616件					
評価指標設定理由							
新しいつながりの創出を目標とするのであれば、ふるさと納税の寄附金額よりも、つながりを数値化するという点において、寄附件数がよりふさわしいと考えるため。	評価	-					

No.	6	戦略目標	つなぐ	施策名	文化財の保護・活用及び伝統文化の継承	分類	継続	
実施計画事業名	文化財保護事業		予算書事業名	文化財保護事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	町指定文化財を増やし、積極的に文化財を保護するとともに、文化財を活用し、町の歴史・文化を学ぶことができる「郷土資料館」を既存施設内に開設することで、伝統文化を継承し、郷土を愛し、誇りに思ふ心を醸成する。郷土芸能の保存と団体の育成を図るため、保存会や後継者育成を支援する。伝統芸能等の継承・披露する場として、郷土芸能祭を継続的に実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	かわじま郷土資料館(仮称)設置準備委員会を組織し、令和4年度中の開館を目指す。開館後は、周知を図るとともに、魅力的な資料展示に努め、来館者数を増やす仕組みづくりを検討する。町内の未指定文化財の調査を行い、町指定文化財として保護すべきリストを作成する。
------	--	----------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> かわじま郷土資料館(仮称)開館プロジェクトの実施 資料館の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化シンポジウムの開催 かわじま郷土資料館(仮称)の開館プロジェクトの実施 郷土芸能祭の実施 伝統芸能映像の記録 	<ul style="list-style-type: none"> 川島インター南側の試掘 展示ケースの改修 デジタルミュージアムの設置 デジタルスタンプラリーの開発 郷土芸能祭の実施 伝統芸能映像の記録 歴史・文化シンポジウムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルミュージアムの管理運営 デジタルスタンプラリーの管理運営 郷土芸能祭の管理運営 伝統芸能映像の記録 歴史・文化シンポジウムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルミュージアムの管理運営 デジタルスタンプラリーの管理運営 郷土芸能祭の管理運営 伝統芸能映像の記録 歴史・文化シンポジウムの開催

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	1,147	1,627	11,473	2,444	2,444
財源内訳	国庫支出金		1,227		
	県支出金		613		
	地方債				
	その他				
一般財源	1,147	1,627	9,633	2,444	2,444

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
郷土資料館来館者数	目標	-	開設準備	開設準備	開設準備	開設準備	開館
	実績	開設準備					
評価指標設定理由							
郷土資料館の設置を目指す。郷土資料館内にデジタルミュージアムなど設置し、展示の充実を図る。	評価	-					

No.	7	戦略目標	つなぐ	施策名	デジタル化の推進	分類	継続
実施計画事業名	戸籍住民登録管理事業		予算書事業名	戸籍住民登録管理事業	関連計画	DX推進計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	平成25年12月に新システム対応の機器のリプレイスを行い、データの保管は磁気媒体となった。また、東日本大震災発生の教訓から、戸籍副本データ管理システムを導入し、災害にも強い戸籍システムの構築を図る。戸籍事務の電算化で、迅速で正確な事務処理が可能となり、住民サービスの向上に繋げる。 戸籍謄抄本等の発行：年間約5,600件、戸籍届出受理数：年間約780件 根拠法令：戸籍法第118条（電子情報処理組織による戸籍事務） 令和6年度の戸籍の広域交付を目指す	評価の考え方及び今後の対応策	戸籍届出の事務処理内容の複雑化による確実な入力等のため、戸籍サポートセンターとの連携は不可欠となっている。また、戸籍システム、戸籍副本データ管理システムが正常に稼動するため、発行停止となることのないよう的確な保守管理が必要となる。令和6年度の戸籍の広域交付までの、費用等の負担
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・戸籍システムの保守 ・法改正に伴うシステムの改修 ・住民基本台帳システムの改修	・戸籍システムの保守 ・戸籍動画サービスの活用 ・法改正に伴うシステムの改修 ・住民基本台帳システムの改修	・戸籍システムの保守 ・戸籍動画サービスの活用 ・法改正に伴うシステムの改修 ・住民基本台帳システムの改修	・戸籍システムの保守 ・戸籍動画サービスの活用 ・法改正に伴うシステムの改修 ・住民基本台帳システムの改修 ・戸籍クラウドの構築	・戸籍システムの保守 ・戸籍動画サービスの活用 ・法改正に伴うシステムの改修 ・住民基本台帳システムの改修 ・戸籍クラウドの構築

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	18,467	10,412	17,326	10,187	11,489	
財源内訳	国庫支出金	260	221	6,205	221	221
	県支出金	1,096	930	930	930	930
	地方債					
	その他					
一般財源	17,111	9,261	10,191	9,036	10,338	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
マイナンバーカード交付率	目標	-	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	85.0%
	実績	21.1%					
評価指標設定理由							
デジタル化を推進するための基幹となるマイナンバーカードの交付率を上げることで、町民の利便性向上や行政運営の効率化を図る。	評価	-					

No.	8	戦略目標	つなぐ	施策名	広域連携の推進		分類	継続	
実施計画事業名	広域行政推進事業		予算書事業名	広域行政推進事業		関連計画	埼玉県川越都市圏まちづくり協議会レインボープラン	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	周辺市町村との交流を深め、連携強化を図り、積極的に事業を実施することで行政サービスの充実と行政事務の広域所処理を推進する。 ・比企広域市町村圏組合 ・比企地域元気アップ実行委員会 ・埼玉県川越都市圏まちづくり協議会 ・比企市町村推進協議会	評価の考え方及び今後の対応策	川越都市圏まちづくり協議会、比企地域元気アップ実行委員会ともに、社会情勢の変化に伴い組織のあり方の見直しが必要となっている。本町含め圏域の活性化につながる公益性の高い組織となるよう協議を進める。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・各種協議会等への参画(負担金)	・各種協議会等への参画(負担金)	・各種協議会等への参画(負担金)	・各種協議会等への参画(負担金)	・各種協議会等への参画(負担金)

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	2,986	3,070	3,070	3,070	3,070
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	2,986	3,070	3,070	3,070	3,070

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域連携による事業数	目標	-	16事業	17事業	18事業	19事業	20事業
	実績	16事業					
評価指標設定理由							
構成自治体の協働による事業数を指標とすることで、行政サービスの拡充や圏域の活性化を検証する。		評価	-				

戦略目標3 つくる「未来に輝く稼ぐ地域をつくる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R4	R5	R6
重要1	川島インターチェンジ周辺整備の推進	川島インターチェンジ南側地区開発事業	4,800	3,500	-
重要2	地域資源の総動員による稼ぐ力の向上	地方創生団体設立事業	43,390	32,390	223,780
1	魅力ある土地利用	都市計画総務事業	2,070	505	505
2	地域特性を活かした農業振興	新規就農総合支援事業	6,343	4,072	4,072
3	活気ある事業活動の推進	商工業振興事業	10,479	10,479	10,479
4	地域資源を活かした観光振興	観光振興事業	2,264	2,158	2,158
5	新たな行政サービスの導入	DX推進事業	9,857	5,500	5,500
6	官民連携の推進	公共施設等総合管理事業	4,000	10,000	10,000
年度ごと概算事業計			83,203	68,604	256,494

戦略目標3 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
町内総生産額	目標	-	94,000百万円	98,000百万円	102,000百万円	106,000百万円	107,031百万円
	実績	90,614百万円					
評価指標設定理由							
戦略目標2で掲げる取組の成果を測定するため、「町内総生産額」によって町民や事業者の皆さまが生み出した付加価値を測り、町の稼ぐ力を確認する。	評価	-					

No.	重要1	戦略目標	つくる	施策名	川島インターチェンジ周辺整備の推進	分類	継続
実施計画事業名	川島インターチェンジ南側地区開発事業	予算書事業名	圏央道インターシティプラン推進事業費	関連計画	川島町都市計画マスタープラン	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	<p>・インタ周辺重点開発地域である川島インターチェンジ南側地区の開発を推進することで、町の産業振興と雇用創出の核となる企業集積の基盤が確保され、地域経済の活性化を図る。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>今後、人口減少に伴う町税の減少や、老朽化した公共施設の改修等建設事業も重なることが予想され、歳入歳出の乖離はさらに大きくなっていく。そのため、産業基盤(川島インターチェンジ周辺開発など)を整備拡充することで自主財源が確保され、かつ新たな雇用も創出される。</p>
------	---	-----------------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	3,300	5,500	4,800	3,500	未定
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	3,300	5,500	4,800	3,500	未定

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工業用地の拡大面積	目標	-	約90ha	約90ha	約90ha	約90ha	約125ha
	実績	約90ha					
評価指標設定理由	評価	-					
産業基盤を整備・拡充することで、地域経済の活性化及び雇用創出が図られる。							

No.	重要2	戦略目標	つくる	施策名	地域資源の総動員による稼ぐ力の向上	分類	継続
実施計画事業名	地方創生団体支援事業	予算書事業名	地方創生団体設立事業	関連計画	KJブランド戦略	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	地域の資源を生かした収益事業で稼ぎ、その利益を町に還元する＝「再投資」することで、地域経済の活性化を図る地域商社の活動を支援する。町民や町内事業者の「参加型」の組織を形成することで、地域生産性の向上やシビックプライドを醸成する。KJブランド認証事業に取り組み、特産品等のブランド力の向上を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	地域商社の設立に向け核となる人材の確保や協力機関との合意形成に難航している。設立目的や中長期ビジョンを早期に明確にし、賛同する町民や事業者を募る周知活動を強化する必要がある。KJブランド認証については、起ち上げから3年以上経過していることから、推進体制や今後の展望について改めて設計することが求められる。
------	---	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体設立準備 ・行政系地域のデザイン作成 ・KJブランド認証 ・各種町のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商社の設立 ・地域商社への出資 ・ECサイトの構築 ・KJブランド認証 ・地域おこし協力隊の任命 ・各種町のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商社への出資 ・観光周遊・防災・宿泊事業の調査研究 ・移動型販売拠点の設置(調査研究) ・KJブランド戦略の策定 ・KJブランドの任用 ・地域おこし協力隊の任命 ・地域活性化に向けた人材育成 ・商品開発力の向上支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商社への出資 ・地域活性化に向けた人材育成 ・集客拠点の基本設計 ・KJブランドの認証 ・地域おこし協力隊の任命 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商社への出資 ・地域活性化に向けた人材育成 ・集客拠点の整備 ・拠点の情報発信 ・KJブランドの認証 ・地域おこし協力隊の任命 ・プロモーションコンテンツの制作

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	10,859	25,344	43,390	32,390	60,780	
財源内訳	国庫支出金	5,291	10,290	16,525	11,525	29,833
	県支出金		987	2,226	2,226	1,113
	地方債					
	その他					
一般財源	5,568	14,067	24,639	18,639	29,834	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域商社会員数(個人・法人)	目標	-	50	100	200	300	400
	実績	設立準備					
評価指標設定理由	評価	-					
地域商社の会員登録者(団体)数にて測定する。地域商社の会員数を増加させることで、施策の目的である地域資源の総動員による稼ぐ力の向上につなげる。							

No.	1	戦略目標	つくる	施策名	魅力ある土地利用	分類	継続	
実施計画事業名	都市計画総務事業		予算書事業名	都市計画総務事業	関連計画	都市計画マスタープラン	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	町民生活や産業活動などの社会情勢や行財政運営の変化を踏まえ、マスタープランの見直しを行うことで、川島町の「目指すまちの姿」を明確化し、「町民」「事業者」「行政」が共有するとともに、都市計画の決定または変更を行う際の方針とする。	評価の考え方及び今後の対応策	インターチェンジ周辺開発などを重点推進項目としてマスタープランに位置づけ、産業基盤の整備を推進することで持続可能な都市の形成に取り組む。
------	---	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	・都市計画審議会の運営	・都市計画マスタープランの改定 ・都市計画基礎調査 ・34条11号12号指定区域図の見直し ・都市計画審議会の運営	・都市計画審議会の運営	・都市計画審議会の運営	・都市計画審議会の運営

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	401	16,346	2,070	505	505
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金		1,200		
	地方債				
	その他				
一般財源	401	15,146	2,070	505	505

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市街化区域内の宅地化率	目標	-	92.2%	92.4%	92.6%	92.8%	93.0%
	実績	32.0%					
評価指標設定理由	評価	-					
土地利用構想に基づいて進める魅力あるまちづくりの効果を測定するため、市街化区域内の宅地化率の上昇について検証する。							

No.	2	戦略目標	つくる	施策名	地域特性を活かした農業振興	分類	継続	
実施計画事業名	新規就農総合支援事業		予算書事業名	農業者支援事業	関連計画	川島町農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	就農直後における経営安定を図るため、「農業次世代人材投資資金」を活用し、新規就農者を支援する。	評価の考え方及び今後の対応策	新規参入の課題として、技術取得までの長さや一定の農業所得を得るまで長期間かかることがあげられる。これを少しでも解消するために、関係機関（地元農家、JA、農業委員、県、町）が一体となり、対象者への定期的なサポートを実施する。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・新規就農の支援（補助、サポート謝金）	・新規就農の支援（補助、サポート謝金）	・新規就農の支援（補助、サポート謝金）	・新規就農の支援（補助、サポート謝金）	・新規就農の支援（補助、サポート謝金）

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	10,727	8,322	6,343	4,072	4,072	
財源内訳	国庫支出金	10,699	8,302	6,042	3,771	3,771
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	28	20	301	301	301	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認定新規就農者数(累計)	目標	-	12人	13人	14人	14人	14人
	実績	12人					
評価指標設定理由	新規就農者の確保が、町の農業振興に寄与するため。	評価	-				

No.	3	戦略目標	つくる	施策名	活気ある事業活動の推進	分類	継続
実施計画事業名	商工業振興事業		予算書事業名	商工業振興事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	町内事業者が円滑に事業活動を展開できるよう商工会が基盤整備や販路開拓、経営相談等の支援を実施し、地元商工業の発展を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	会員数の伸び悩みがあることから新たな事業展開を行う必要がある。課題の解決と新たなチャレンジを商工会と共に進めていく。アフターコロナを見据え商工・観光分野を有識者、民間事業者等と連携して実行することで町内商工業の活性化を図り、商工会員数を増やしていく。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画) 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画) 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画) 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画) 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画)

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	10,396	10,479	10,479	10,479	10,479
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	10,396	10,479	10,479	10,479	10,479

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
商工会会員数	目標	-	515	525	535	545	555
	実績	505					
評価指標設定理由	評価	-					
活性化や事業効果の度合いを会員数で測定する。							

No.	4	戦略目標	つくる	施策名	地域資源を活かした観光振興	分類	継続
実施計画事業名	観光振興事業		予算書事業名	観光振興事業		関連計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	町内の地域資源を活用した周遊ルート開発や各種イベントにより町の魅力をPRする。	評価の考え方及び今後の対応策	コロナ禍ということもあり、交流人口は伸び悩んでいる。アフターコロナを見据えて商工会や民間事業者等と連携して観光振興策を実行することで交流人口の増加を図る。
------	---	----------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 観光PRグッズの作成 商工会等との連携による観光振興策の立案 マスコットキャラクターのPR 広域観光周遊ルートの形成 川と親しみを持つイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 観光PRグッズの作成 商工会等との連携による観光振興策の立案 マスコットキャラクターのPR 広域観光周遊ルートの形成 川と親しみを持つイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 観光PRグッズの作成 商工会等との連携による観光振興策の立案 マスコットキャラクターのPR 広域観光周遊ルートの形成 川と親しみを持つイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 観光PRグッズの作成 商工会等との連携による観光振興策の立案 マスコットキャラクターのPR 広域観光周遊ルートの形成 川と親しみを持つイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 観光PRグッズの作成 商工会等との連携による観光振興策の立案 マスコットキャラクターのPR 広域観光周遊ルートの形成 川と親しみを持つイベントの開催

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	1,485	1,624	2,264	2,158	2,158
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	1,485	1,624	2,264	2,158	2,158

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交流人口	目標	-	6,500	55,000	60,000	65,000	70,000
	実績	56,177					
評価指標設定理由							
交流人口の増減により測定する。	評価	-					

No.	5	戦略目標	つくる	施策名	新たな行政サービスの導入	分類	継続	
実施計画事業名	DX推進事業		予算書事業名	DX推進事業	関連計画	川島町DX推進計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	ICTを活用した新たな行政サービスを導入し、町民の利便性向上や業務改善を図り、新たな価値の創出に取り組む。	評価の考え方及び今後の対応策	町のDX推進計画で示した内容について計画的に実行していく必要がある。また、国のDX推進計画に基づいた基幹系17業務のガバメントクラウドへの移行やマイナポータルを活用したオンライン申請手続数の増を達成していく必要がある。さらに、庁内業務のペーパーレス化実現に向け、DX推進計画期間のR8年度までに、LGWAN無線化環境や職員端末整備に取り組む。加えて、既存タブレット端末の増台や電子黒板等の活用によるペーパーレス会議の実施に取り組む。
------	---	----------------	--

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	・専門組織設立準備	・DX推進室設置 ・DX推進計画の策定 ・デジタル人材派遣制度の活用	・ガバメントクラウドの先行導入 ・チャットツールの導入及び活用 ・タブレット端末の整備 ・デジタル人材派遣制度の活用 ・マイナポータルの活用推進 ・RPAの活用	・ガバメントクラウドの先行導入 ・チャットツールの導入及び活用 ・タブレット端末の整備 ・デジタル人材派遣制度の活用 ・マイナポータルの活用推進 ・RPAの活用	・ガバメントクラウドの先行導入 ・チャットツールの導入及び活用 ・タブレット端末の整備 ・デジタル人材派遣制度の活用 ・マイナポータルの活用推進 ・RPAの活用

年度 (単位：千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	0	6,406	9,857	5,500	5,500
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	0	6,406	9,857	5,500	5,500

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
行政事業への新たな技術導入数	目標	-	1	1	2	2	3
	実績	0					
評価指標設定理由							
新たなサービスの提供度を技術導入数により測定する。R7までに3件以上、R12までに10件以上の導入を達成する。	評価	-					

No.	6	戦略目標	つくる	施策名	官民連携の推進	分類	継続	
実施計画事業名	公共施設等総合管理事業		予算書事業名	公共施設等総合管理事業		関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	社会情勢の急激な変化に伴う行政需要の多様化に対応するため、民間企業の知見や資源を活かした官民連携によるまちづくりを推進する。	評価の考え方及び今後の対応策	公共施設等総合管理事業については、場当たりの整備とせず、町の将来を見据えた一体的な活用構想をまとめるため必要があり、産官学が連携したまちづくりを進める必要がある。今後は、政策研究やプロジェクトチームの活用方針を基に、町的意思決定を行い、サウンディング調査やPFIによる整備を進める。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・行政系エリアのデザイン作成	・行政系エリア活用に向けた政策研究の実施	・行政系エリアサンディング市場調査(実施要領作成・現地見学会・説明会開催)	・PPP/PFI基本構想作成	・PPP/PFI基本計画作成

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	0	3,200	4,000	10,000	10,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	0	3,200	4,000	10,000	10,000

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
PPP/PFI事業検討数	目標	-	1件	2件	3件	3件	3件
	実績	1件					
評価指標設定理由	評価	-					
PFIの事業検討数で評価する。民間企業の知見や資源を活かした官民連携により効率的・効果的な地域経営につなげる。							

戦略目標4 そだてる「未来へはばたく人財をそだてる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R4	R5	R6
重要1	夢を育む新たな学校づくり	学校統合推進事業	219	15,400	311,719
重要2	社会を生き抜く人財の育成	学力向上推進事業	48,600	48,600	48,600
1	新たな生涯学習の推進体制構築	総合型スポーツクラブ活動推進事業	4,560	4,560	4,560
2	生きる力を育む学校教育の推進	学力向上推進事業（一部再掲）	17,600	17,600	17,600
3	心と体を育む教育環境の整備・充実	学校応援団事業	0	0	0
4	多様な学習機会の充実	地域学校協働活動～学校開放・地域げんきづくり事業～（再掲）	1,887	1,887	1,887
5	子育て支援・児童福祉の充実	子育て支援総合センター管理運営事業（再掲）	26,014	26,229	26,446
年度ごと概算事業計			98,880	114,276	410,812

戦略目標4 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各種講座・教室参加者数	目標	-	660人	670人	680人	700人	720人
	実績	651人					
評価指標設定理由	評価	-					
戦略目標4で掲げる取組の成果を測定するため、「各種講座・教室参加者数」によって町民の皆さまが自身の能力やスキル等を向上した機会数を測り、活躍する人財の育成効果を確認する。							

No.	重要1	戦略目標	そだてる	施策名	夢を育む新たな学校づくり	分類	継続
実施計画事業名	学校統合推進事業		予算書事業名	小中一貫教育推進事業	関連計画	公共施設個別施設計画	計画期間 R4 ~ 継続 年度

事業目的	川島町立小学校規模適正計画に基づき、川島町小中一貫教育推進協議会にて、学校、保護者、地域の意見を取り入れながら、小中一貫教育実現を進めていく。	評価の考え方及び今後の対応策	小中学校の9年間の中で、子どもたちへのきめ細かい教育の実現により、学力や社会性の向上などを図ることができる。そのために、小学校、中学校の連携や交流、一貫教育への研究を進め、小中一貫教育を推進する。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・小中一貫教育の検討会議及び研究	・小中一貫教育の検討会議及び研究	・小中一貫教育の検討会議及び研究	・小中一貫教育の検討会議及び研究 ・川島中学校(小中一貫教育校)校舎改修工事の設計	・小中一貫教育の検討会議及び研究 ・川島中学校(小中一貫教育校)校舎改修工事の実施

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	61	219	219	15,400	311,719
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	61	219	219	15,400

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小中一貫教育校計画の推進	目標	-	検討	協議・研究	協議・研究	協議・研究	事業計画決定
	実績	検討開始					
評価指標設定理由							
本施策の効果を測定するため、小中一貫教育校計画の進捗状況を確認することで、子どもたちにとって適正規模の学校づくりの進行を検証する。前期基本計画の計画期間では、※つばさ南・北小学校、川島中学校を対象に検討を進める。		評価	-				

No.	重要2-1	戦略目標	そだてる	施策名	社会を生き抜く人財の育成	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業		予算書事業名	学力向上推進事業(小学校)	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	<p>学力向上を図るため、学力向上推進委員会にて学習指導の改善策を検討する。 また、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。 GIGAスクール構想によるタブレット端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを実現し、ドリル教材等の活用により学力向上を図る。 全ての学力の基本となる日本語力の向上を目的に、令和元年度から小学校5年生、6年生を対象に日本語検定受験推進事業を実施している。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>児童の学力向上のために、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査を分析し、必要な教育を実施する必要がある。 日本語検定受験推進事業を継続し、全ての科目において、問題の読解力を高めることで、全児童の学力向上を目指す。 学習用端末の導入に伴い、ICT機器の効果的な活用方法を検討し、児童の学力向上を推進していく。※AIDドリル教材の活用。 ・プログラミング教育は、学習用端末のソフトを活用して実施。</p>
------	--	-----------------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・啓発文書の保護者への配布 ・家庭学習ノートの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・啓発文書の保護者への配布 ・家庭学習ノートの配布 ・学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・啓発文書の保護者への配布 ・家庭学習ノートの配布 ・学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・啓発文書の保護者への配布 ・家庭学習ノートの配布 ・学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・啓発文書の保護者への配布 ・家庭学習ノートの配布 ・学習用端末及びAIDドリル教材の学校及び家庭での活用

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	14,457	30,920	31,000	31,000	31,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	14,457	30,920	31,000	31,000	31,000

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
埼玉県学力・学習状況調査全学年・全科目平均点以上教科数(4年生、5年生、6年生:2教科) ※重要施策2-2と合算値	目標	-	4/14教科	5/14教科	6/14教科	7/14教科
	実績	3/14教科				
評価指標設定理由						
全て児童が、高い学力を身につけることで、社会を生き抜く人財を育成する	評価	-				

No.	重要2-2	戦略目標	そだてる	施策名	社会を生き抜く人財の育成	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業		予算書事業名	学力向上推進事業(中学校)	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	<p>学力向上を図るため、学力向上推進委員会にて学習指導の改善策を検討する。 また、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。 GIGAスクール構想によるタブレット端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを實現し、ドリル教材等の活用により学力向上を図る。</p>	<p>評価の考え方 及び 今後の対応策</p>	<p>生徒の学力向上のために、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査を分析し、必要な教育を実施する必要がある。 学習用端末の導入に伴い、ICT機器の効果的な活用方法を検討し、生徒の学力向上を推進していく。 ※AIDリル教材の活用。 英語検定受検推進事業(平成29年度から実施)を継続し、グローバル社会において活躍できる英語力を全ての生徒が身につけることを目指す。</p>
------	--	---------------------------------	--

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</p>	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</p>	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</p>	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</p>	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用</p>

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	15,104	17,498	17,600	17,600	17,600
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	15,104	17,498	17,600	17,600	17,600

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
<p>埼玉県学力・学習状況調査全学年・全教科平均点以上教科数(1年生:2教科、2、3年生:3教科) ※重要施策2-1と合算値</p>	目標	-	4/14教科	5/14教科	6/14教科	7/14教科
	実績	3/14教科				
評価指標設定理由						
<p>全て生徒が、高い学力を身につけることで、社会を生き抜く人財を育成する</p>	評価	-				

No.	1	戦略目標	そだてる	施策名	新たな生涯学習の推進体制構築	分類	継続
実施計画事業名	総合型地域スポーツクラブ活動推進事業	予算書事業名	スポーツ振興事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	誰でも自由に気軽にいつまでもスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブの事業を支援する。	評価の考え方及び今後の対応策	立ち上げから数年は事務所の整備や活動に必要な物品購入などハード面での投資が必要であり、赤字運営にならないよう財政的な支援が必要である。また、令和3年度からは、totoによる助成により運営を安定化することになるが、助成対象経費が限定的であるため、町単独で財政的な支援を行う必要がある。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・クラブ運営に支援(補助)	・クラブ運営に支援(補助)	・クラブ運営に支援(補助)	・クラブ運営に支援(補助)	・クラブ運営に支援(補助)

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	3,724	4,560	4,560	4,560	4,560
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他		4,104	4,104	4,104
一般財源	3,724	456	456	456	456

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合型地域スポーツクラブ会員数	目標	-	140人	150人	160人	170人	180人
	実績	116人					
評価指標設定理由	評価	-					
総合型地域スポーツクラブが会費収入により自主運営することを目指す。毎年10人ずつ増やし、R7に会員数180人を達成する。							

No.	2	戦略目標	そだてる	施策名	生きる力を育む学校教育の推進	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業(一部再掲)		予算書事業名	学力向上推進事業(中学校)	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	<p>学力向上を図るため、学力向上推進委員会にて学習指導の改善策を検討する。 また、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。 GIGAスクール構想によるタブレット端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを実現し、ドリル教材等の活用により学力向上を図る。</p>	<p>評価の考え方 及び 今後の対応策</p>	<p>生徒の学力向上のために、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査を分析し、必要な教育を実施する必要がある。 英語検定受験推進事業(平成29年度から実施)を継続し、グローバル社会において活躍できる英語力を全ての生徒が身につけることを目指す。 学習用端末を活用した英検対策を実施する。 ALT、私塾と連携した英検対策講座を実施する。</p>
------	--	---------------------------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析を行う。</p>	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 ・学習用端末を活用した英検対策 ・ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</p>	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 ・学習用端末を活用した英検対策 ・ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</p>	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 ・学習用端末を活用した英検対策 ・ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</p>	<p>・県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 ・学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 ・学習用端末を活用した英検対策 ・ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施</p>

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	15,104	17,498	17,600	17,600	17,600
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	15,104	17,498	17,600	17,600	17,600

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
中学校2、3年生英検4級以上取得率	目標	-	50.0%	53.0%	55.0%	57.0%	60.0%
	実績	46.1%					
評価指標設定理由							
グローバル社会において活躍できる人材育成を目指し、全生徒の英検取得率の向上を図る。	評価	-					

No.	3	戦略目標	そだてる	施策名	心と体を育む教育環境の整備・充実	分類	継続
実施計画事業名	学校応援団事業		予算書事業名	学校教育事業	関連計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	ボランティアの協力をいただき、教育環境の整備・充実を推進し、児童・生徒に対し、教育における切れ目のない支援を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	登録者がいない、または登録者数が伸び悩んでいる学校もある。広報紙やかわべえメールを活用して制度の周知を図り、意欲ある方の登録を募って団員数を増やす必要がある。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	0	0	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学校応援団登録者数	目標	-	360人	365人	370人	380人	390人
	実績	355人					
評価指標設定理由							
学校応援団の登録者数を測り、児童・生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる環境を整備する。	評価	-					

No.	4	戦略目標	そだてる	施策名	多様な学習機会の充実	分類	継続
実施計画事業名	地域学校協働活動推進事業	予算書事業名	地域学校協働活動推進事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	地域と学校がお互いに協力して、子どもを中心に大人もまなび・活動できる「みんなの居場所(ひろば活動)」をつくることで、地域全体で子どもを育てるとともに、地域をげんきにするための国庫補助事業。	評価の考え方及び今後の対応策	事業目的を達成するには、魅力的な事業を企画・運営できる人材が必要不可欠であるため、人材の増加数をもって評価する。 対応策としては、地域学校協働活動で講座やイベントを通じて、経験を蓄積することで人材を育成することで、指標の目的を達成する。
------	--	----------------	---

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	883	1,887	1,887	1,887	1,887
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	587	1,258	1,258	1,258
	地方債				
	その他				
一般財源	296	629	629	629	629

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各種事業を実施することができる人材の数	目標	-	16人	16人	17人	17人	18人
	実績	15人					
評価指標設定理由							
事業目的を達成するには、魅力的な事業を企画・運営できる人材が必要不可欠であるため	評価	-					

No.	5	戦略目標	そだてる	施策名	子育て支援・児童福祉の充実	分類	継続	
実施計画事業名	子育て支援総合センター運営事業(再掲)		予算書事業名	子育て支援総合センター運営事業	関連計画	川島町子ども・子育て支援事業計画	計画期間	R4 ~ 継続 年度

事業目的	安心して出産・子育てができるよう、子育て親子が気軽に集い交流できる施設(子育て支援総合センター「かわみんハウス」)として運営する。 町内在住者が利用しやすい施設を目指す。	評価の考え方 及び 今後の対応策	来館者数は、年々増加しているが、町内在住者の利用割合が減っている。 魅力ある事業を展開し、町内在住者にとって、利用しやすい施設を目指す。
------	--	------------------------	---

各年度の 事業概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)

年度 (単位:千円)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (当初予算額)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費	26,574	25,801	26,014	26,229	26,446	
財源内訳	国庫支出金	3,544	2,944	2,991	2,991	2,991
	県支出金	2,944	2,944	2,991	2,991	2,991
	地方債					
	その他	113	125	125	125	125
	一般財源	19,973	19,788	19,907	20,122	20,339

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
子育て支援センター来館者数(町内在住者)	目標	-	3,800人	4,400人	5,100人	5,800人	7,000人
	実績	3,129人					
評価指標設定理由							
町内在住者にとって、利用しやすい事業・施設を目指す。	評価	-					